



●この説明書は、必ず組立て・取付けされる方へお渡しください。

■組立て・取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立て・取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

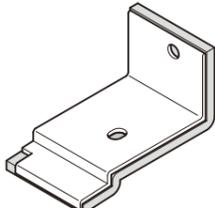
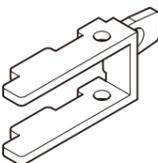
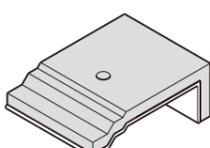
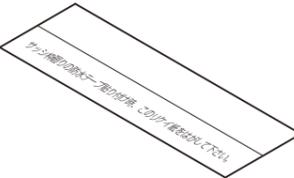
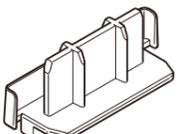
▲注意

- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・指定個所には必ずコーキング材（別途）を充てんしてください。
 - ・排水経路を確保するため、下キャップの前面部には、シーリングをしないでください。
 - ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
 - ・上・下キャップ取付け後、指定個所に防水補助シール（連窓方立に同梱）を張付けてください。

■組立て・取付け上のお願

- 必ず指定の組立てねじ・取付けねじを使用してください。
- 連窓時の組立ては、「連窓方立組立て説明書」も併せて参照してください。
- 連窓後の取付けは、「連窓方立取付け説明書」も併せて参照してください。
- 説明書およびねじセットは、必ず組立て・取付けされる方へお渡しください。

■部品一覧表

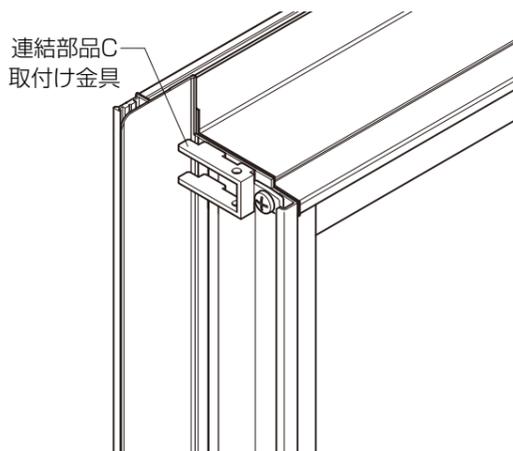
				
連結部品C	連結部品C取付け金具	下キャップ	防水補助シール 連窓方立に同梱	収縮かくしピース

■ねじ一覧表

イ	ロ	ハ	ニ	ホ
				
バインド小ねじ M4×10	ナベタッピンねじ (1種) φ4×35	バインド小ねじ M4×8	皿タッピンねじ φ4×12	ナベタッピンねじ φ4×20
連結部品Cに同梱		連窓方立に同梱		

■組立て順序

1 連結部品C取付け金具の取付け

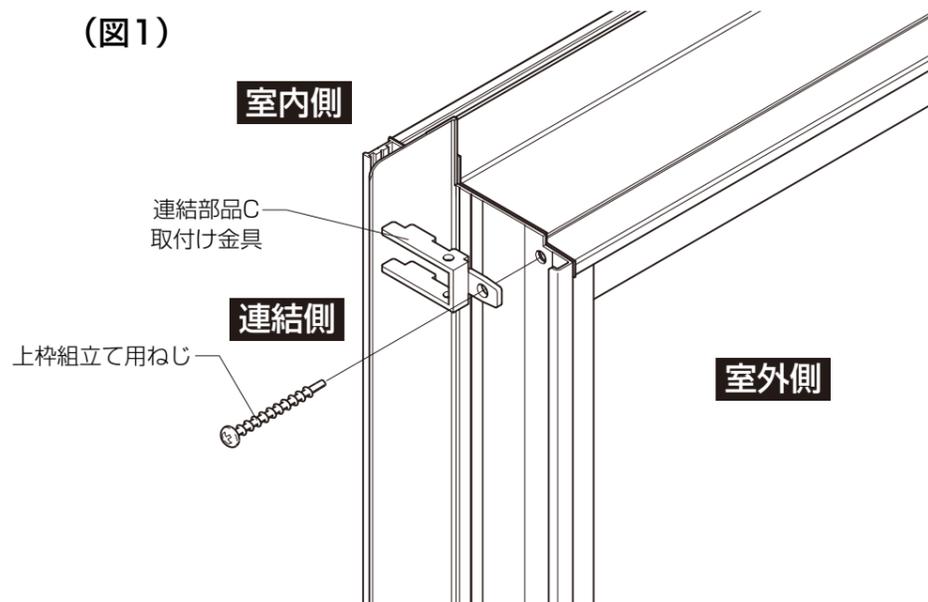


■組立て詳細

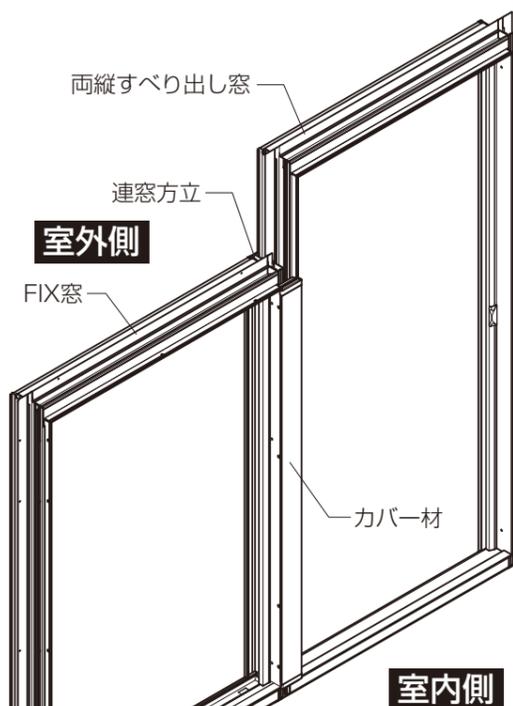
1 連結部品C取付け金具の取付け

- 連窓するサッシのうちHの小さい方のサッシ連結側上部に連結部品C取付け金具を取付けます。
※金具の取付けは上枠の組立てねじで行います。（図1）

(図1)



2 連窓方立との連結



2 連窓方立との連結

※段窓したサッシと連窓する場合は、「段窓無目組立て説明書」にしたがい、段窓部を組立ててください。

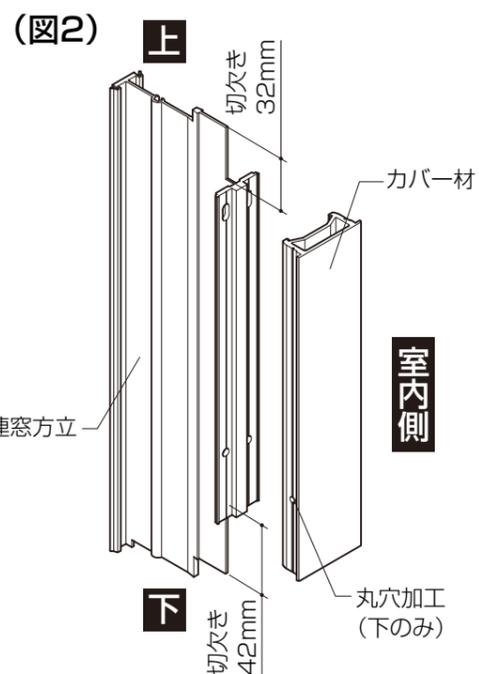
※連窓方立はHの小さい方（本図の場合H1）のものを使用します。

※連結前に連窓方立の上下を確認してください。（図2）

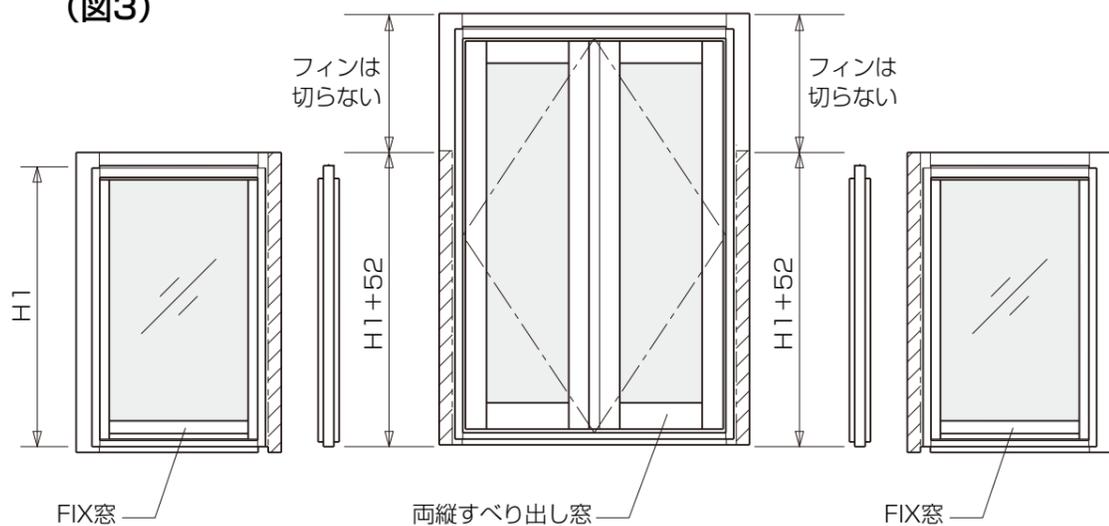
①連結する側の縦枠のフィンの $\text{\textcircled{H}}$ 部をあらかじめ折り取っておきます。（図3）

※フィンの折り取り方法については「連窓方立180°組立て説明書」を参照してください。

※連窓するのが段窓したサッシの場合も縦枠のフィンを下から（H1+52）の範囲だけ折り取っておきます。



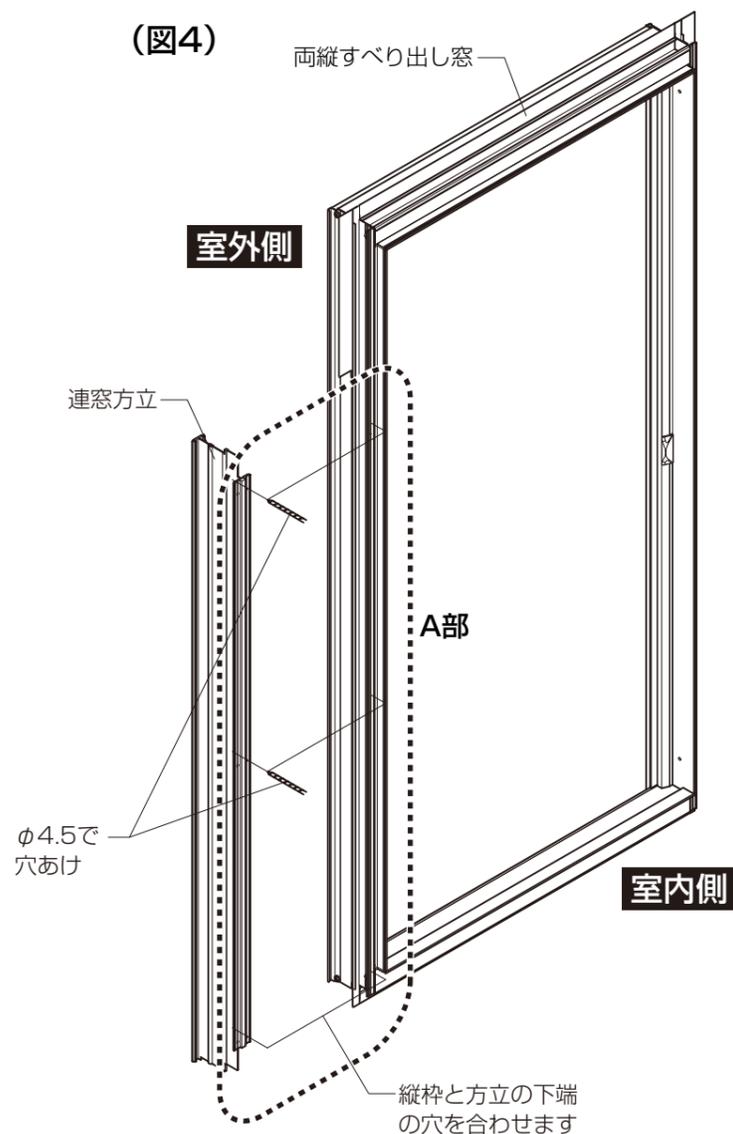
(図3)



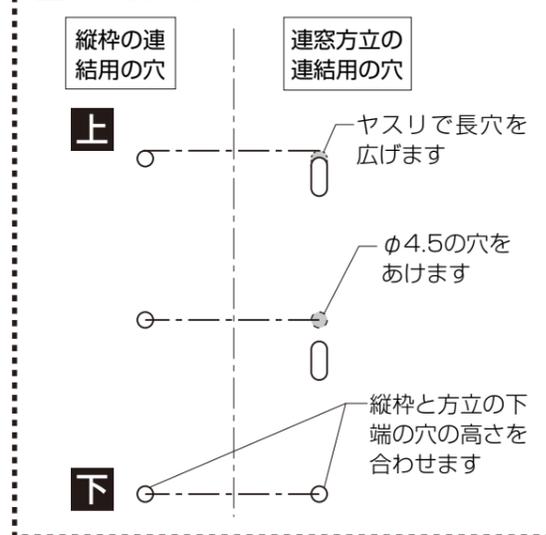
②Hの大きい方（本図の場合は両縦すべり出し窓）の縦枠と連窓方立の下端の穴の高さを合わせ、縦枠の穴と方立の長穴の位置が合うか（連結ができるか）を確認してください。

方立の長穴と縦枠の穴が合わない場合は、方立に $\phi 4.5$ の穴をあけるか、ヤスリで長穴を広げ連結できるように加工してください。（図4）

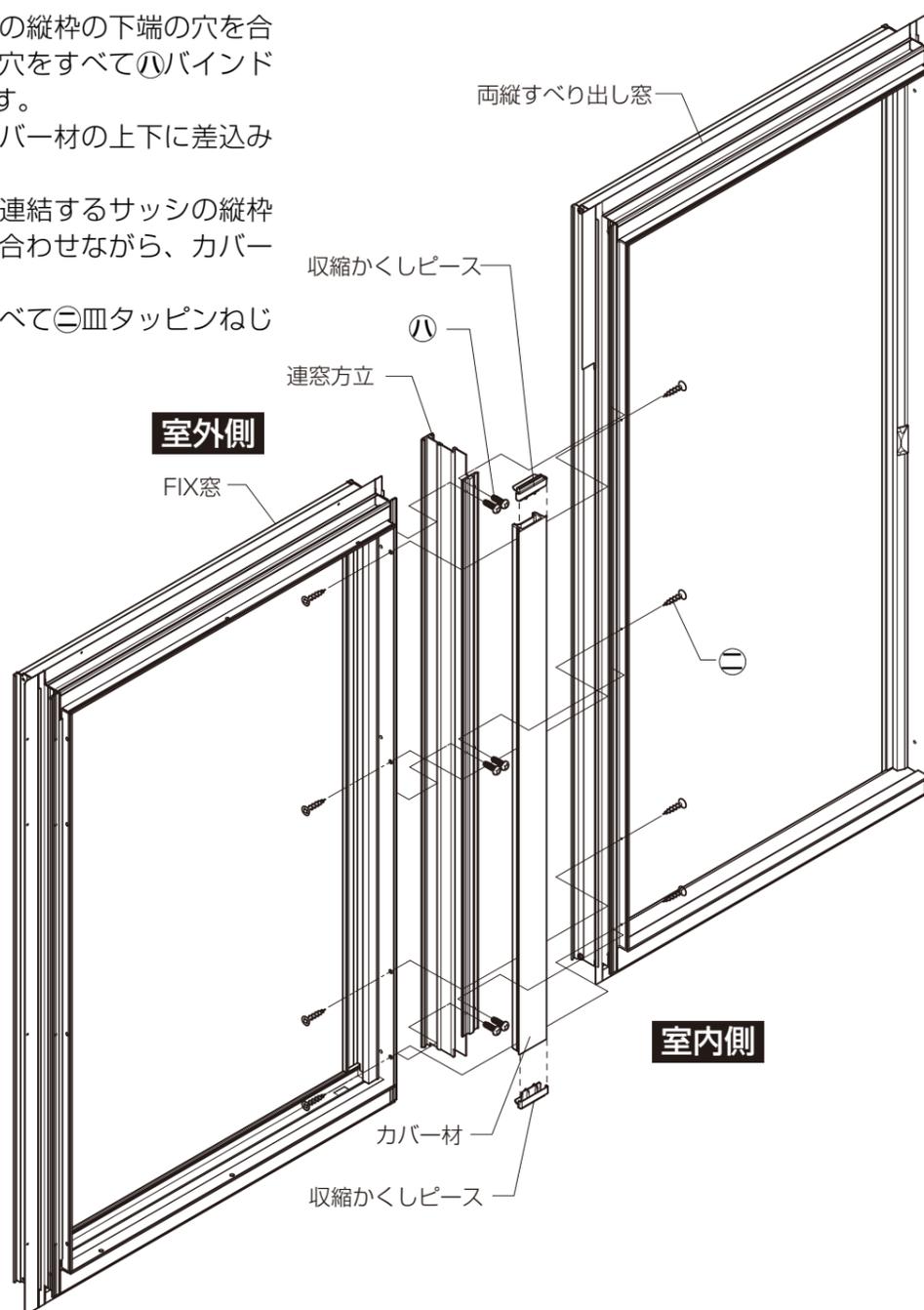
(図4)



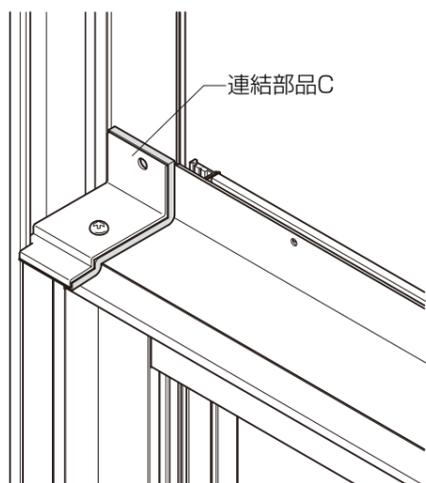
■A部詳細図



- ③連窓方立とサッシ本体の縦枠の下端の穴を合わせながらはめ込み、穴をすべて④バインド小ねじでねじ止めします。
- ④収縮かくしピースをカバー材の上下に差込みます。
- ⑤カバー材の下端の穴と連結するサッシの縦枠アングルの下端の穴を合わせながら、カバー材をはめ込みます。
- ⑥縦枠アングルの穴をすべて⑥皿タッピンねじでねじ止めします。



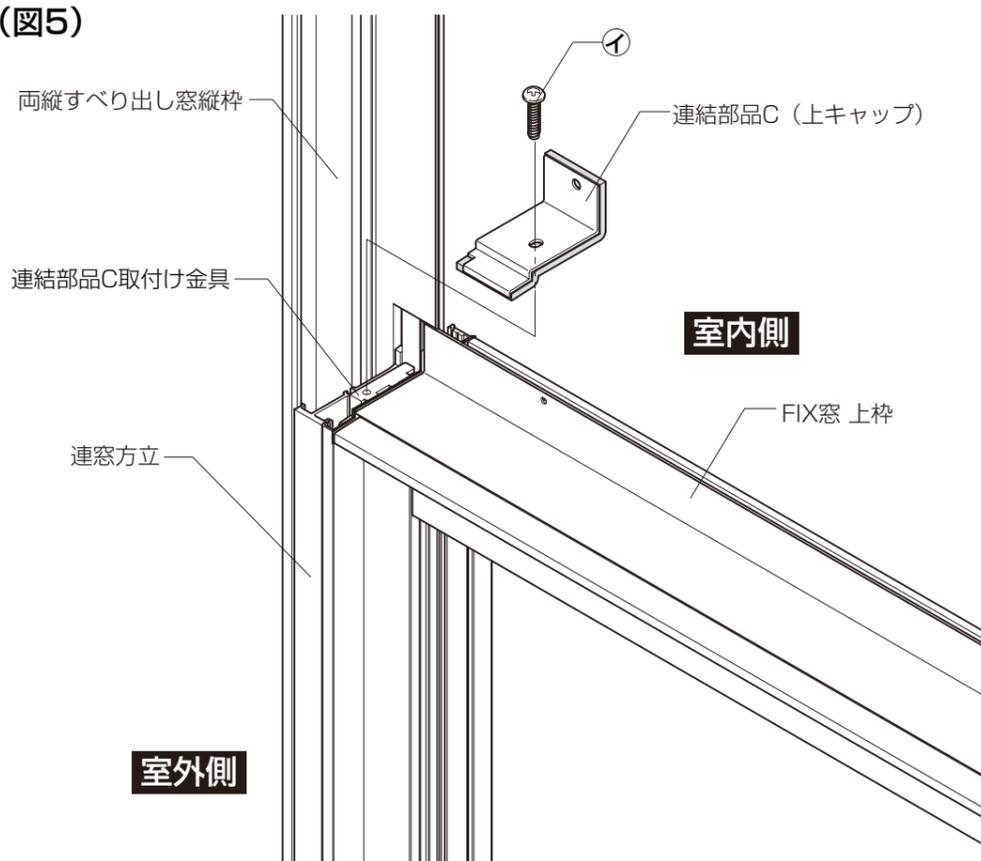
3 連結部品Cおよび下キャップの取付け



3 連結部品Cおよび下キャップの取付け

- ①連結部上部に連結部品Cを④バインド小ねじで取付けます。(図5)
- ※品種および連窓するサッシのサイズによっては、縦枠のねじなどと連結部品が接触する場合があります。ねじなどをよけるように連結部品を削るなど加工してください。
- ※連結部品Cは、Hの小さいサッシの上枠に取付けた連結部品C取付け金具にねじ固定します。

(図5)

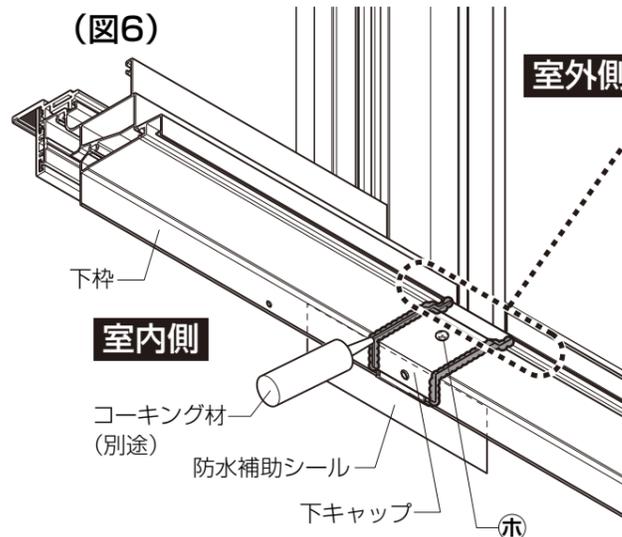


②連結部下部に下キャップを取付けます。(図6)

※下キャップおよび取付けねじ(Ⓜナベタッピンねじ)は連窓方立に同梱されています。

※連窓方立に同梱されている上キャップは使用しません。

③連結部品Cおよび下キャップ取付け後、防水補助シールの張付けと指定箇所(■部)にコーキング材(別途)を充てんしてください。(図6、図7)



▲ 注意

●排水経路を確保するため、下キャップの前面部にはシーリングをしないでください。

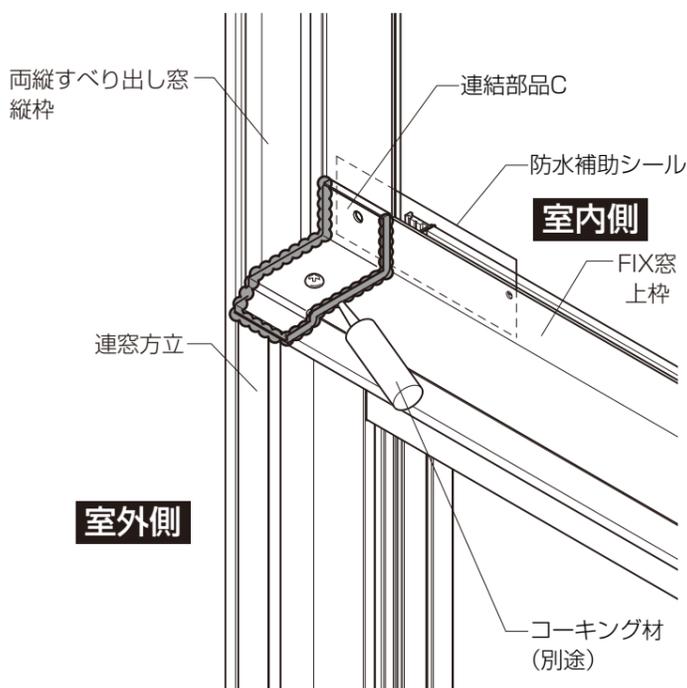
▲ 注意

●上・下キャップ取付け後、指定箇所(■部)にコーキング材(別途)を充てんしてください。

..... コーキング材について

シリコン系コーキング材は使用しないでください。
ポリサルファイド系の使用を推奨しますが、変成シリコン系を使用される場合は、防水テープおよび外壁とサッシとの取り合いに使用するコーキング材と付きにくい場合がありますのでコーキング材製造業者にご確認ください。

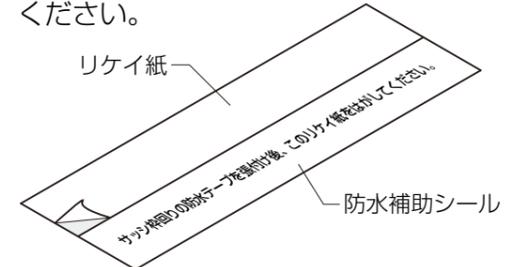
(図7)



■防水補助シールの張付け

●片側のリケイ紙を半分はがし、フィンの裏面に張付けます。

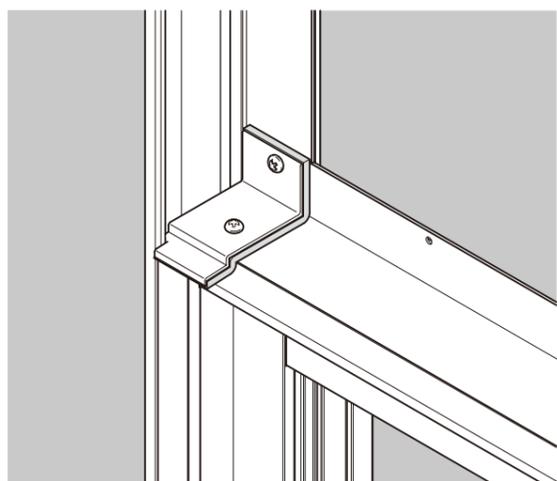
※必ず文字の書いていない方をはがしてください。



▲ 注意

●上・下キャップ取付け後、指定箇所に防水補助シール(連窓方立に同梱)を張付けてください。

4 躯体への取付け



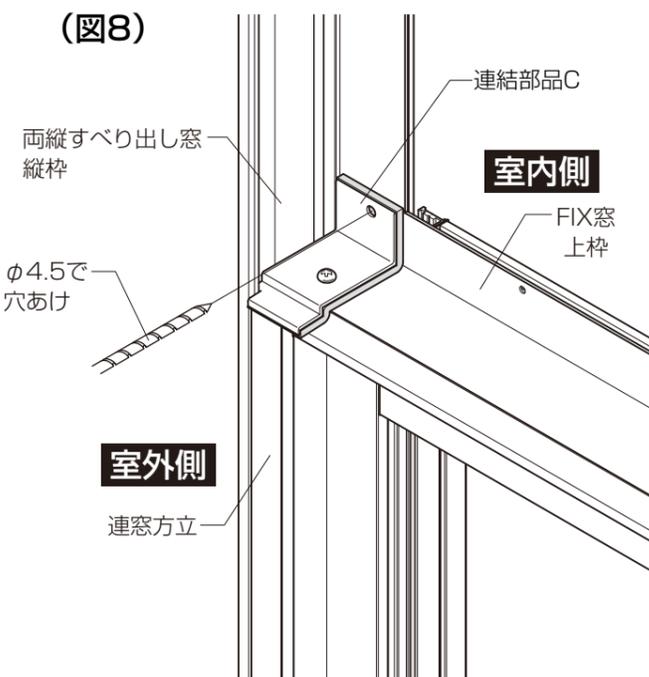
4 躯体への取付け

①躯体への取付け前に、連結部品Cにあいている穴より縦枠のフィンにφ4.5の穴をあけてください。(図8)

②連窓方立の取付け説明書にしたがい、躯体への取付けを行います。

③躯体への取付け後、Ⓜナベタッピンねじを使用し、連結部品Cの穴より躯体とねじ固定してください。(図9)

(図8)



(図9)

